

令和8年度 集落福祉活動研修会 アンケート結果 (香住会場)

性別	
男	56
女	46
合計	102

年代	
40代	2
50代	9
60代	62
70代	29
合計	102

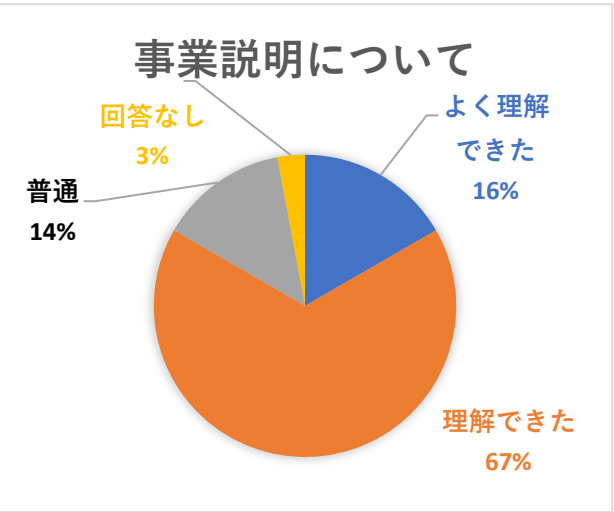
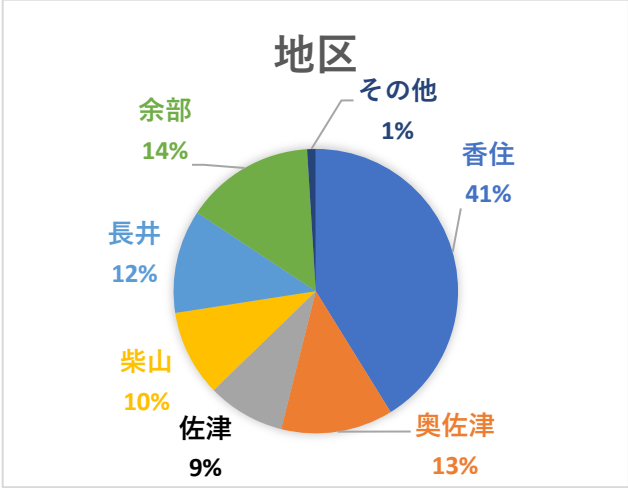
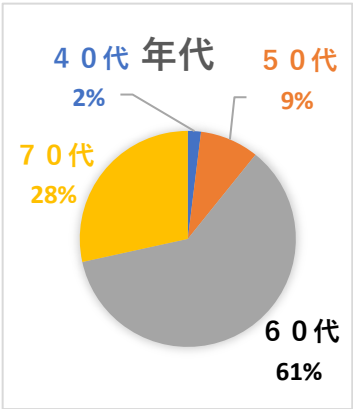
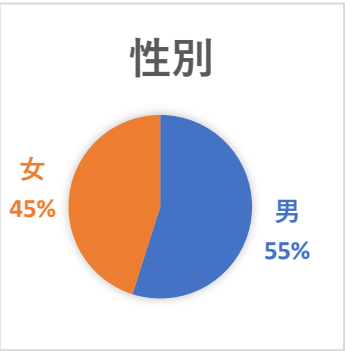
地区	
香住	42
奥佐津	13
佐津	9
柴山	10
長井	12
余部	15
その他	1
合計	102

事業説明について	
よく理解できた	17
理解できた	68
普通	14
回答なし	3
合計	102

グループトークについて	
とても良かった	21
良かった	67
ふつう	12
回答なし	2
合計	102

支え合いはあるか	
非常にある	6
まあまあある	55
ふつう	32
あまりない	8
回答なし	1
合計	102

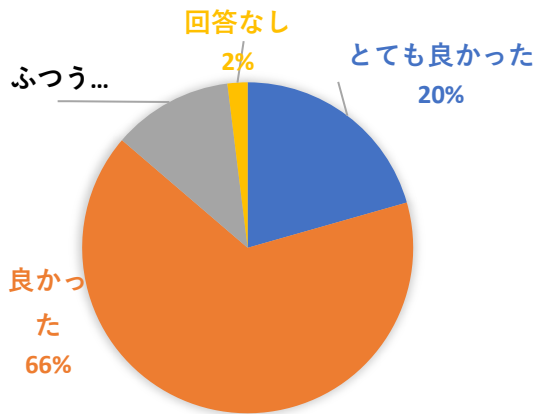
重要と思うこと(複数選択)	
挨拶や声かけ	95
ご近所同士の見守り	78
役員会との連携	31
民生委員、福祉委員との連	32
役場や社協との連携	27
交流の場の充実	34
「助けて」と言える環境作り	50
その他	2



【事業説明の感想】(抜粋)

- ・町の人口環境を把握できた
- ・支え合いの大切さ。気づけるように日頃から「アンテナ」を立てておく
- ・知らないことがたくさんありました
- ・普段からの声掛けが大切だと思いました
- ・プライバシー保護のためには、昔のような方法では難しい内容もあると思います
- ・改めてお話を聞くことで自然に助け合いをしていることも実感。新たな課題も見えてきました
- ・日頃から不安に思うことを教えていただきました
- ・次のグループトークに向けての「橋渡しの」内容であり良かった
- ・皆さん日頃からそれなりにお付き合いされている。お互い様が行き届いている気がしました
- ・事業について少し勉強になりました

グループトークについて

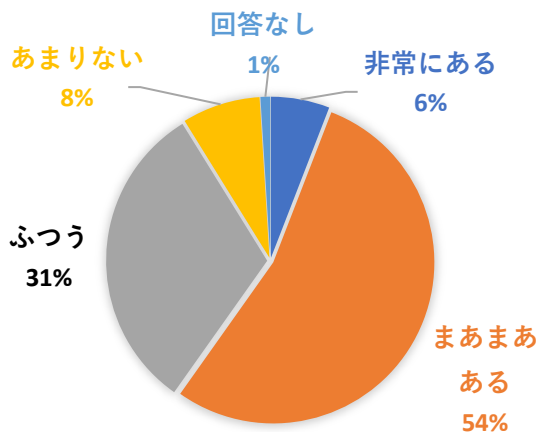


【グループトークの内容】(抜粋)

- ・他地区の知らない活動を知ることができた
- ・他地区の様子を聞かせて頂きできる事を考え直す機会を頂きました
- ・話をする機会を頂いた事でテーマの内容以外でも話し合うことができて良かった
- ・移動販売は良いがバスは使いにくい
- ・普段見落としていたところを考えることができた
- ・地域の方と話し合うことで色々なことを共有できたり、新しい情報もあり良かったです
- ・情報を共有することが大事
- ・それぞれの現状を話した。朝出たら夜まで帰らないので近所の人に会わない。暑くて外に出ない等、人と人とのつながりが薄くなっている
- ・色々な困りごととはどこまで又どこへ行ったら話を聞いてもらえるのか区内の人にはなかなか言えないこともあるとのことですが
- ・コロナ以降新年会や集まりも少なくなった
- ・地区内のボランティア、除雪、草刈り、やる人はやる

- ・近隣の情報が得られにくい(聞きにくい、個人情報)相談できる人が必要な。
- ・役員が男性ばかりで女性の立場からの意見が聞けなかったが、ここに来て例えば買い物難民の問題など気づかされた
- ・話し合うテーマによっては出しにくい場合もあった
- ・悩み、問題は地区間に差はないこと、答えはない。課題改善へ向けた思いの共有が大切なことはわかった
- ・話が次々に出て協力的な人が多いなと思いました

支え合いやつながりはあるか

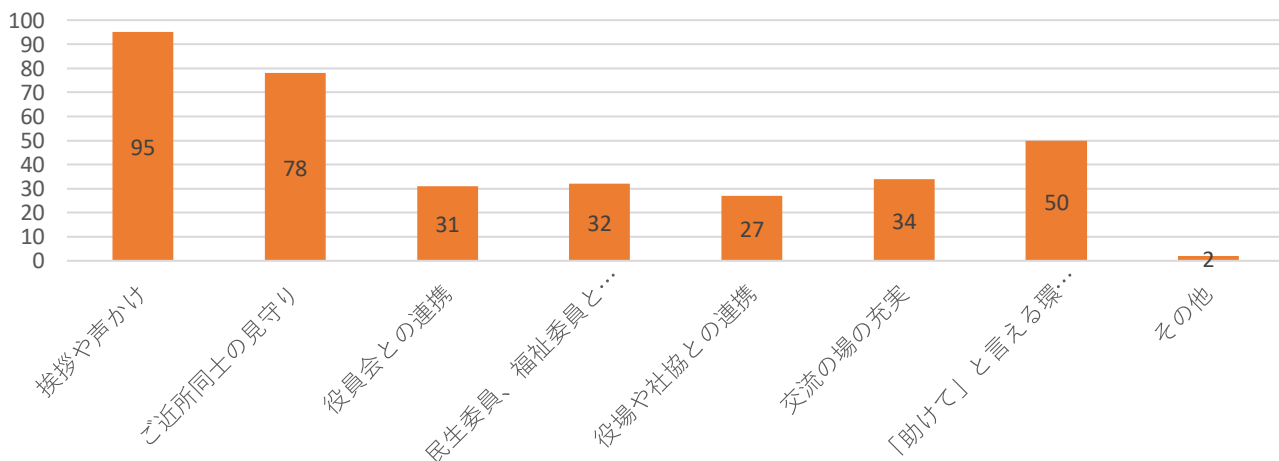


【支え合い・つながりエピソード】(抜粋)

- ・おすそ分けで顔見知りになる。困ったときにSOSで助けをお願いされることがあり、いつも顔を見ると会話をするが大切であると痛感しました。
- ・まだまだできることがあるのでは、と思うようになった。
- ・区の福祉会議の活動は、情報共有できていいと思います。
- ・ご近所の方とは物々交換したり、助け合ったりおしゃべりしたりつながりはあります。が、地区全体のことは交流や見えていないことが多いので、広がればいいと思います。
- ・それぞれ生活もあるので必要に応じて協力し合えばと思います
- ・自分自身が余り情報を知らない
- ・人に頼んだことがない、頼まれたことがない
- ・共有するのが難しいと感じています
- ・頼まれればやってあげる場合が多い。なかなか自分からやってあげることは難しい
- ・地区役員として活動している中、その時々気になる人の様子など話し合っている。

- ・民生委員をやっているが、高齢者等で何か問題があれば近隣の方が私に連絡してくれるので対応が早くできる。
- ・人の性格はそれぞれ。自分たちが合わせられるか？どこまで声かけし支え合えるか？
- ・地形的に道前の家と奥まった家で人通りが違うので、接触の機会がない
- ・転入される方が比較的多いですが、新年会等の行事が開かれないう状況が続いていますので、コミュニケーションがとりにくいです

支え合いをしていくために重要と思うこと



【全体通してご意見】(抜粋)

- ・忙しいので研修の時間帯を考えてほしい
- ・色々な地区の話を聞かせてもらい、参考になることがたくさんあり勉強になりました
- ・1回目より2回目と研修内容が濃くなってきています。本音で話ができきたように思えた
- ・多くの意見が聞けて良かったです。町の活気が出るのが一番かなと思います
- ・集落福祉活動研修会というネーミングを変更された方が良いと思います。時代に合っていない。
- ・情報の共有という言葉が出たが大切であると思う
- ・地区のことを知る良い機会になった
- ・他の地区の方々との情報交換は大変参考になる。「フリートーク、まとめ発表」の繰り返しが良かった。
- ・地区内での話し合いの場がやはり必要であると思った
- ・近所での情報共有は必要だが個人情報ということもあり、共有しにくい
- ・光るチャイムの見本を皆の前で見せていただき説明した方が良かったです
- ・話し合いの中より①移動手段の不便さ→利便性の追求、工夫
- ②移動販売車と自治会の連携。例：販売車とその地区内のいつも来る人が来ない等の情報共有。
- ③郵便配達員と自治会の連携。例：新聞受け、郵便受けに数日分滞っている
- ・グループトークで出た意見や考えを模造紙にわかりやすく記入し、全体共有の時によく見えるように提示し共有したらどうかと思います。限られたグループの発表は文字として残らないのですぐに忘れます。
- ・支え合いが大事だが「してあげる」だけではしんどい。「していただく」だけでもしんどい。「お互い様」の気持ちで感謝を持って接する。
- ・話し合いの時間が少ない。町からのプッシュ型の支援が少ないと感じています。少しでも話ができ良かった。
- ・グループトークでの提案や困っていること(バス運行など)の問題解決に取り組んでいただければと思います